奈良県税条例 \mathcal{O} 部を改正する条例をここに公布する。

和 五年三月三十一 日

奈良県知事 荒 井 正 吾

奈良県条例第四十 九号

奈良県税条例 \mathcal{O} 部を改正する条例

る 奈良県税条例 (昭和二十五年九月奈良県条例第三十四号) ∅– 部を次 のように改正す

第三十六 条 の二第二項中 第十 項 を 「第 + -四項」 に 改 8

百四十九条第一項」に改める。 百四十七条第一号イ」を「第百五十一条第一号イ」 「エネルギ 第五十六条の五第一項第一号ア(2)中 ーの使用の合理化及び非化 石エネルギー 「エネル ギ に、 \mathcal{O} \sim 使用 \mathcal{O} 転換等に関する法律」に、 「第百四十五条第一項」 の合理化等に関する法律 を 第

則第六条第 一項中「令和六年度」 を 「令和: 九年度」 に改める

る。 則第七条の三の五中 「令和 五年三月三十 _ 日 を 「令和七年三月三十 --- 旦 に 改 8

、は第五 附 則第七 項」 条の に に改める。 四第二項 单 次条第 __ 項、 第五 項若 < は 第 八 項 を 次 条第二項若

項」に、 項」 項を同条第六項とし、 三月三十一日」を「令和七年三月三十一日」 を「附則第八条第三項各号」に改め、 同条第二項とし、 「第五項」に、 「令和七年三月三十一日」 に改め、 附則第八条第 を「附則第八条第五項」 「附則第八条第五項」を「附則第八条第二項」に、 同項を同条第七項とする 一項から第三項までを削 「令和五年三月三十 同条第六項を同条第三項と 同条第十項中「、 に改め、 に、 「附則第八条第九項各号」 一旦 同項を同条第一項とし、 同項を同条第四項とし、 第八項」を ŋ を「令和七年三月三十一日」 ٦, に改め、 Ļ 同条第四項中 同条第七項中「、 乛 同項を同条第五項とし、 第五項」に、 令 を「附則 同条第五項 「附則第八条第六項各号」 和五年三月三十 同条第八項中「令和五年 第五 第八条第六項各号 頭」を 附則第八条第八 に改め、 中 「第八 同条第九 項 日 同 を

第八 条の二第二項中 「前条第八項」 を 「前条第五項」 に 改 8 る

則第 条の 十中 「令和 五年三月三十 日 を 「令和七年三月三十 旦 改 8

則第八 条の 十二第二項を削る

七 年三月三十 則 第 八条の 日 十三第 に 改 一項か め、 同条第三 ら第三項までの規定中 匹 |項を次 のように改 「令和五年三月三十 8 日 を 令

- 項を同条第五 4 という。 附 軽減 その 及び 突に 定に ては、 第六項に 警報装置」 動車を除 方衝突警報装置及び 限 第六 則第八条の十三第五項を削 より 制 た前方障害物との衝突に対する安全性 対 他 同条第一項の規定により令和七年九月一 則で定めるもの 両 項に する安全性の 動 \mathcal{O} 該 制 おい 重 環境保全上の技術基準で施行規則で定めるもの 令和四年五月一日以降に適用される 的自動車 とい を削 項と で初 御装置に お とある 次項及び て 1 (道路運送車 う。 て同じ。 り 口 「衝突被害軽減制動制御装置」 新 0 規登録 取 係る保安基準」 同項 衝突被害軽減 向上を図るため \mathcal{O} 令和 (次項にお 得が に係る保安上又は公害防止その は、 第六項に 0 がを受け 次に次 が 令和六年四月三十日までに行わ 五年三月三十一日」 両法第四 とい 八 り お 1 卜 う。 \mathcal{O} るも 制 て 同条第六項中 11 ン という。 て同じ。 一項を. の装置 を超えるトラッ 動制御装置を備えるも 十条第三号に 「側方衝突警報装置に係る保安基準 \mathcal{O} から三百五十万円 に 加える。 対す \mathcal{O} (以下この べきも 向上を図るための装置 日以降に適用されるべきも という。 を であ る第五十六条 \mathcal{O} \neg V 規定する車 (施行 「令和六年四 ずれ ク \mathcal{O} 9 項及 他の環境保全上 とし て、 (施行 規則で にも適合するも (第六項におい を控除 て定め 同法第 れ び次 \mathcal{O} に係る保安上又は \mathcal{O} 規 両 たときに限 (施行 定め 頃に 月三十日」 兀 則 総 四十 重 \mathcal{O} 5 で る被け 規則 て得 規定 お 定 量 れ 以 \mathcal{O} た 8 を _ 下この 左側面 た で定め のとし 技術 条第 て 7 \mathcal{O} \bigcirc n る 11 適用 に改 額 لح 被 ん引自 う。 \mathcal{O} いう。 基準 衝 側 同 う 公害防止 _ け とす 条中 ち、 突被 項及 て定 12 方 る 項 λ \mathcal{O} 9 項 \mathcal{O} Ź。 8 害 び 自 同
- 6 月三十 条第一 制 衝突被害軽減制 乗用車 に 御装置を備え 又は 対する第五 項の 車 日 両 (施行規則で定めるも 十五 まで 規定により令和七 総重量が三・五ト 十六条 るも に行 動 万円 制 を控除 御装置に係る保安基準に適合するも わ \mathcal{O} n \mathcal{O} (施行規則で定めるも たときに 兀 \mathcal{O} 規定 年九 て得 ンを超えるト \mathcal{O} 月 に限る。 限 0 た 適用 額 ŋ 日以降に適用される とする。 同条中 に ラッ 9 11 \mathcal{O} に限る。 クで バス ては、 된 あつ VI (施行 う。 当該 て、 \mathcal{O} のうち、 自 で ベ 規 動 きも 道路運送車 則 初 とあ 車 口 で 新 定 0 \mathcal{O} 取得 衝 とし 8 る 規 \mathcal{O} 登録を受け 突被害軽減 る が 両 て定めら ŧ 法 \mathcal{O} 第 和七 匝 限 年三 11 るも + 制 れ 、 う。 た

九

条第

項

单

電気

自

動

車

を

11

う。

以下

 \mathcal{O}

条」

を

電

気

自

動

車

を

11

項

行規則で 項 第 二十二年 号中 受け ガス にお 」を 平成三十年 成三十年ガ 成二十五年三月三十 十一旦」 を受けた場合に 同条第二項から第四項までを 同 項 第 日 ソ 号ア 年天然ガ 号」 三十 おい 当該 自動 項第五 一号ア 同 た日 を 「平成三十年天然ガ 車 を加え、 一号ア 8 7 定 車 自動車が 自動 に、 に、 年 年 同 て 両 (1) \mathcal{O} を 号」 | | | | | | 総 石 石 令 ソ (1) 8 月 属する年度の 同 「令和 「平成十 (次項第五号及び第三項第二号」 項第四 油 油 和二年 (2) IJ る 重量が三・ 車 ス 一に規定する平成三十年ガ 「天然ガ 項 第 規定す (3) に ŧ 車 は を 除 ガ 日 ガ 「平成二十四年三月三十一日」 以下 基準」 令和四年度分の 令和三年四 を ス 軽中量車基準」 \mathcal{O} 日 ス 八年三月三十一日」に、 「同条第一 -度基準 軽中 軽中 号中 以降に 規定する令和一 一号ア 以 日 に 七 「同条第 (以下この号に 降に る排 年ガ 以 ス自 量車 量車 を 五. ス 翌年度分」 下 \mathcal{O} 「平成三十年ガ 適用され 出ガ (1) 二に規定する 1 適用されるべ 車基準」 に改め 条」 ソ 動車を エ \neg 基 基準 ネ リン 成 削 項第五号」 \mathcal{O} ン 又は同法第四 月 項第一 を超 り、 条及 進 ル 日日 ス保安基準で施行規則 を と 七 ギ 軽中量車 自動車税 11 「ガ 次 一年度基 . う。 に、 び次条」 年石 を 11 お る え から令 を 同項第二号中 同条第五項中 号ア 消費効率」 う。 + - -項 11 ベ ソ 「道路運送車両法第四十 「第五十六条 きも きも リン 油 第二号に に、 ソ ソ て 以下 「第二項 基準 平成 IJ 準 <u>(2)</u> IJ + ガ \mathcal{O} 和四年三月三十一日ま 平 「令和」 に、 自動 ン O種 خ ス 工 ン __ \mathcal{O} を 云 に、 を ネ に、 成二十 以下 条第 別割 十七 軽中 軽中量車基準 とし として定め \mathcal{O} 除 لح と ル 油 条 中 お の表」を「次 五年度分」 車 「平成二十七年三月三十 「次項第六号」 「平成二十二年三月三十 -量車基 -量車基 て定め に限り」 ギ ガ \mathcal{O} 1 いう。 年 \mathcal{O} 11 -- 「平成十 (自家用乗用車等を除 次 . う。 天然 で定め ガ ス自動 五第 項 を て 令和二年 --- -消費効 年天然 、項第四 ソ \mathcal{O} 同条 平 「天然ガ IJ 5 規 準 準 ガ 5 を「、 -七年ガ 成 項 定に る n を削 車 れ ス (次項第 た排出 三十 率 ·度基 に、 軽中 を ガ 自 の表」 | 号及 第二号ア t た第五十六条の五第 12 を に -- 以 条第 り、 ス車基 で 改 動 \bigcirc 改 ス ょ \mathcal{O} 「第五十 以下 自 準工 年石 Ø 量車 車 当 \mathcal{O} 下 下 同 ソ ŋ CK \Diamond 「第五十六 に、 間に 条第 IJ 平成 に改 該 第三 ガ 12 に 動 号に ネ 油 基 準 ス あ 項 初 令 車を (1) \mathcal{O} 同 ン 同 項第五 軽 六 保 初回新 \mathcal{O} ル 準 回新 和五 日 及 条」 項 <u>二</u> め ガ \mathcal{O} _ 項 0 「又は 項及 安基 に ギ 中 お 条 規 日 第 第 項 次 7 1 ス び第三項第 第 量車 規 0 定に う。 条 は、 規登録を 年三月三 11 11 同 を __ 項第二 項第 定 号 消 \mathcal{O} 五. 淮 年 平 規 \sqsubseteq に を 号 び 7 뭉 登録 及び 改め す 中 次 五 成二 ょ 中 基 次 石 平 平 劾 第 項 項 ŋ 項

準 油ガ 次の表を加える。 項第三号において 油軽中量車基準」 (1)二に規定する平成十七年石油ガス軽中量車基準(次項第二号において「平成十七年石 (次項第三号において「平成二十一年軽油軽中量車基準」という。 を「第五十六条の ス軽中量車基準」という。 を「同条第 「平成三十年軽油軽中量車基準」 五第一 項第三号ア(1)に規定する平成三十年軽油 一項第三号ア(1)に規定する平成二十一年軽油軽中量車基準 \smile _ に改め、 同項第六号中 という。 「平成三十年軽油軽中量車基 \sqsubseteq に、 」に改め、 軽中量車基準 平成二十一 同項に 年軽 次

六、五〇〇円	二五、〇〇〇円	第一項第一号イ
一〇、五〇〇円	四〇、七〇〇円	
七、〇〇〇円	二七、二〇〇円	
六、〇〇〇円	二三、六〇〇円	
五、五〇〇円	二〇、五〇〇円	
四、五〇〇円	一七、九〇〇円	
四、〇〇〇円	一五、七〇〇円	
三、五〇〇円	一三、八〇〇円	
二、五〇〇円	九、五〇〇円	
二、五〇〇円	八、五〇〇円	
二、〇〇〇円	七、五〇〇円	第一項第一号ア

						第一項第二号ア									
_	111、000円	一八、五〇〇円	一五、〇〇〇円	一二、〇〇〇円	九、〇〇〇円	六、五〇〇円	一一〇、〇〇〇円	八七、〇〇〇円	七五、五〇〇円	六五、五〇〇円	五七、〇〇〇円	五〇、〇〇〇円	四三、五〇〇円	三六、〇〇〇円	
_	五、五〇〇円	五、〇〇〇円	四、〇〇〇円	三、〇〇〇円	二、五〇〇円	二、〇〇〇円	二七、五〇〇円	二二、〇〇〇円	一九、〇〇〇円	一六、五〇〇円	一四、五〇〇円	一二、五〇〇円	一一、〇〇〇円	九、〇〇〇円	

_		
	二五、五〇〇円	六、五〇〇円
	二九、五〇〇円	七、五〇〇円
	四、七〇〇円	一、二〇〇円
第一項第二号イ	八、〇〇〇円	一、〇〇〇円
	五〇〇円	三、〇〇〇円
	一六、〇〇〇円	四、〇〇〇円
	五〇〇円	五、五〇〇円
	五、五〇〇円	六、五〇〇円
	三〇、〇〇〇円	七、五〇〇円
	三五、〇〇〇円	九、〇〇〇円
	四〇、五〇〇円	一〇、五〇〇円
	六、三〇〇円	一、六〇〇円
第一項第二号ウ(1)	七、五〇〇円	11、000円
	一五、一〇〇円	国、〇〇〇日
第一項第二号ウ(2)	10′1100m	11, OOOE

一四、五〇〇円	五七、〇〇〇円	
一三、〇〇〇円	五〇、五〇〇円	
一一、〇〇〇円	四四、〇〇〇円	
九、五〇〇円	三八、〇〇〇円	
八、〇〇〇円	三二、〇〇〇円	
七、〇〇〇円	(2) 二六、五〇〇円	第一項第三号ア(2)
七、五〇〇円	二九、〇〇〇円	
六、五〇〇円	二五、五〇〇円	
六、〇〇〇円	二二、五〇〇円	
五、〇〇〇円	10、000円	
四、五〇〇円	一七、五〇〇円	
四、〇〇〇円	一四、五〇〇円	
三、〇〇〇円	(1) 一二、 〇〇〇円	第一項第三号ア(1)
五、五〇〇円	二〇、六〇〇円	

一一、五〇〇円	四五、六〇〇円	
10、000円	四〇、〇〇〇円	
九、〇〇〇円	三四、八〇〇円	
七、五〇〇円	二八、八〇〇円	
六、五〇〇円	二回、四〇〇円	
五、〇〇〇円	110、000円	第一項第五号
六、〇〇〇円	二三、五〇〇円	
四、五〇〇円	一七、三〇〇円	第一項第四号
111,000年	八三、〇〇〇円	
一八、五〇〇円	七四、〇〇〇円	
一六、五〇〇円	六五、五〇〇円	
一四、五〇〇円	五七、〇〇〇円	
一二、五〇〇円	四九、〇〇〇円	
田〇〇州、〇一	四一、〇〇〇円	
八、五〇〇円	三三、〇〇〇円	第一項第三号イ

11、000円	八、〇〇〇円	
一、六〇〇円	六、三〇〇円	
一、三〇〇円	五、二〇〇円	第二項第二号
一、六〇〇円	六、三〇〇円	
一、1100円	四、七〇〇円	
一、〇〇〇円	三、七〇〇円	第二項第一号
一、五〇〇円	六、〇〇〇円	
一、五〇〇円	四、五〇〇円	第一項第六号
111、000円	八八、〇〇〇円	
一七、五〇〇円	六九、六〇〇円	
一五、五〇〇円	六〇、四〇〇円	
一三、五〇〇円	五二、四〇〇円	

自動車税の種別割に限り」 日から令和四年三月三十一日までの間に初回新規登録を受けた場合には令和四年度分の 七条第一項第一号ア及び第六号ア」 に、 附則第九条第五項を同条第二項とし、 「第三項」を「次」 「令和五年度分」 を「、 を削り、 に、 「同条」を「同項」に改め、 当該初回新規登録を受けた日の属する年度の翌年度分 に改め、 「令和五年三月三十一日」 同条第六項中「第五十七条第一項」を「第五十 「、当該営業用の乗用車が令和三年四月一 同項に次の表を加える。 を「令和七年三月三十一

二、五〇〇円	四、五〇〇円	第六号ア
二〇、五〇〇円	四〇、七〇〇円	
四、〇〇〇円	二七、二〇〇円	
11、000円	二三、六〇〇円	
一〇、五〇〇円	二〇、五〇〇円	
九、〇〇〇円	一七、九〇〇円	
八、000円	一五、七〇〇円	
七、000円	一三、八〇〇円	
五、〇〇〇円	九、五〇〇円	
四、五〇〇円	八、五〇〇円	
四、〇〇〇円	七、五〇〇円	第一号ア

附則第九条第六項を同条第三項とする。

附則第九条の三第一項中「、第三項、第五項又は第六項」及び「から第六項まで」を

「又は第三項」に改める。

附則第十一条第四項中「令和五年三月三十一日」を「令和八年三月三十一日」 に改め

る。

附則第十二条の二第一項及び第二項中 「令和五年度」を「令和八年度」 に改める。

附則

(施行期日)

第一条 この条例は、令和五年四月一日から施行する。

(不動産取得税に関する経過措置)

第二条 については、 き不動産取得税について適用し、 動産取得税に関する部分は、この条例 この条例による改正後の奈良県税条例 なお従前の例による。 同日前の不動産の取得に対して課する不動産取得税 の施行 \mathcal{O} (以 下 日以後の 「新条例」 不動産 という。 \bigcirc 取得に対 \mathcal{O} て課す 規定中不 ×.

(自動車税に関する経過措置)

第三条 例による。 前に取得された自動車に対して課する自動車税の環境性能割に 後に取得された自動車に対して課すべき自動車税の環境性能割に 新条例の規定中自動車税の環境性能割に関する部分は、 9 11 · の条例の施行の て ** \ は、 て適用し、 なお従 前の 同 以 日

2 お従前 車税の種別割につい 新条例の \mathcal{O} 例による。 規定中自動車税の て適用 種別割に関する部分は、 令和四年度分までの 自動車税 令和五年度以後の の種別 割 年度分の自動 0 11 ては